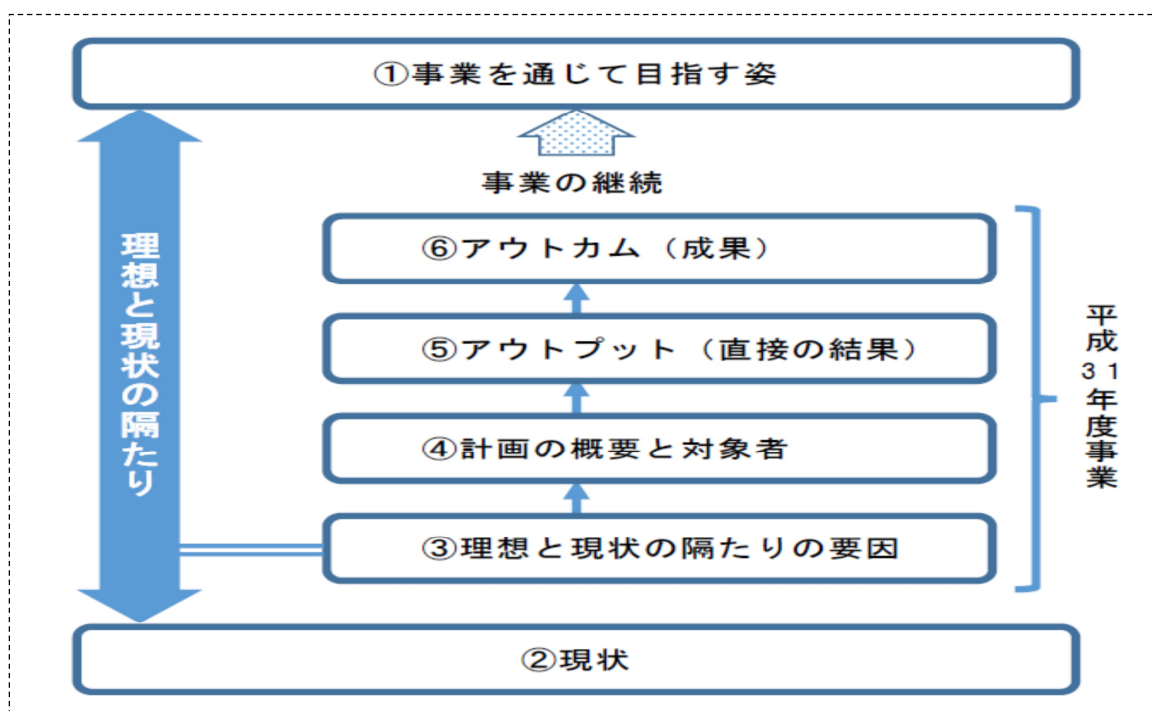


## 事業計画書

事業名	障がい者・障がい児の「働きたい」を応援する事業～注文をまちがえるレストラン～
団体名	特定非営利活動法人まこと

### 記入する項目の関係図

次の図は、この事業計画書の各項目の関係を示したものです。以下、この図を意識しながら、各項目に記入する内容を検討してください。



### 1 目指す姿

事業を通じて目指す姿や、事業を実施する目的はどのようなものですか。「地域や社会、人のどんな問題を解決し、どのような状態にしたいのか」を具体的に記入してください。

障がい者の「働きたい」という思いをかなえ、障がい児の「働くってどんなこと？」を実現するための活動を目的とする。

「失敗は成功のもと」「笑う門には福来る」という日本の素晴らしいことわざをスローガンに、失敗を恐れず挑戦し、失敗しても笑顔で許しちゃう社会を目指す。

障がいのある人と地域の人々が関わり、障がいに対する認識を変え、理解を深めることで社会参加や働くことが当たり前になれる社会にしたい。

## 2 現状

上記 1 の目指す姿と比べて、現在はどのような状況にありますか。

障がい者と関わり、理解を深める機会が少ないため、障がい者をどのように受け入れて良  
いかが分かりにくく、福祉の場から一步社会に出ると、間違いを受け入れることを前提と  
して、障がい者が働くことを学ぶ場が少ない現状である。

## 3 目指す姿と現状の隔たりの要因

上記 1 と 2 の隔たりを生み出している主な原因はどのようなものと考えますか。

障がい者を受け入れる地域の資源や人材が不足していることが要因であり、障がい者に対  
する理解の低さが一層社会参加を閉ざすことになっていると考える。

## 4 計画の概要と対象者（平成 31 年度）

上記 3 で挙げた要因を取り除くため、どのような人を対象に、どのような活動を実施しま  
すか。150 字以内で簡潔にまとめてください（計画の詳細は下記 7 に記入してください）。

障がい者・障がい児の「働きたい」という思いを支援するために、「注文を間違えても間違  
いを受け入れてむしろ笑顔で許しちゃう」がコンセプトの『注文をまちがえるレストラン』  
を年 2 回、合計 4 日間実施する。

## アウトプット（直接の結果）とアウトカム（成果）について

アウトプットとは 事業の直接の結果であり、事業を通じて、どれだけの人に対し、どのようなサービスが提供されたかをいいます。

アウトカムとは 事業の成果であり、アウトプットが地域や社会、人にもたらす変化や効果をいいます。事業はこのアウトカムを生み出せるように計画します。

### アウトプットとアウトカムの関係

事業を実施すると、まず、  
というアウトプットが生じ、次にその成果として、  
というアウトカムが生じる関係にあります。

### 事業実施 アウトプット アウトカム

## アウトプットとアウトカムの例

事業名	活動	アウトプット	アウトカム
学習支援事業	学習会の開催	月 4 回、各回 20 名参加	参加者の学習意欲の向上
就労支援事業	冊子作成・配布	1 千冊作成，800 人に配布	就労に必要な知識の習得
保護者支援事業	居場所の運営	週 2 回、各回 15 名参加	育児の負担感の緩和
移動支援事業	高齢者の送迎	週 2 回、各回 5 名利用	移動手段の選択肢の増加

## 5 アウトプット（直接の結果）

平成 31 年度の事業を通じて、どれだけの人に対し、どのようなサービスを提供しますか。

- ・倉敷美観地区「宵待ちガーデン 星のヒカリ」(予定)にて、15 歳~22 歳の障がい者(支援学校の生徒・卒業生含む)をスタッフとしたレストランの開催
- ・倉敷市内(未定)にて 15 歳~64 歳の幅広い年齢の障がい者をスタッフとしたレストランの開催

アウトプットを測る指標と数値目標を記入してください。

指標	現状の数値	事業実施後の数値目標
星のヒカリ 参加障がい者	0	12 人(6 人×2 日)
お客様	0	90 人(45 人×2 日)
(未定) 参加障がい者	0	24 人(12 人×2 日)
お客様	0	90 人(45 人×2 日)

事業実施後の数値目標は、どのような方法で測りますか。

各取り組みを実施するごとに、利用者の数を数える

## 6 アウトカム（成果）

上記 5 のアウトプットが、平成 31 年度中に、地域や社会、人にもたらす変化や効果はどのようなものですか。

活動が認知されることで障がい者が働くことに対する理解者が増え、新たにこのような活動に取り組みたいという企業や、地域団体、また活動の場を提供してくれる経営者が現れることを期待する。

## 7 計画の詳細

### (1) 具体的な内容

内容、対象者、実施期間、実施場所、ねらいなど、できるだけ明確に記入してください。

「注文をまちがえるレストラン」の開催

○倉敷美観地区「宵待ちガーデン 星のヒカリ」にて

- ・平成 31 年 6 月の 2 日間・・・事前予約制
- ・11：00～12：30、13：00～14：30 の 2 部制
- ・パスタランチ 3 種（選べるパスタ、サラダ、フォカッチャ、デザート、ドリンク）

950 円

- ・15 歳～22 歳の知的障害者（支援学校の生徒・卒業生を含む）が席へのご案内、注文、配膳、お会計までの仕事を行う。
- ・提供する食事は「星のヒカリ」のシェフ、スタッフが担当する。
- ・美観地区で開催することにより、地域の方はもちろんのこと、他県からの観光客や外国人の方にも知っていただくことで活動の輪が広がることが期待できる。

○倉敷市茶屋町「つくぼ片山家」にて

平成 31 年 10 月の 2 日間・・・事前予約制・喫茶、抹茶席は当日券あり

- ・11：00～12：30、13：00～14：30 の 2 部制
- ・選べるごはん、煮物、具だくさん汁 500 円
- ・庭園を眺めながらの喫茶ブースでは、選べるデザートドリンク付き 300 円
- ・お茶室では抹茶・和菓子セットを 300 円で提供する。
- ・15～64 歳の身体・知的・精神・発達障害者が席へのご案内、配膳までの仕事を行う。
- ・提供する食事・デザートは倉敷市の就労継続支援事業所製造のものを使用する。
- ・展示ブースを設け、倉敷市で活動する就労継続支援事業所に作品を展示してもらう
- ・大型古民家を利用することにより、多様な仕事を体験することができ、地域住民をまきこみ定期的な開催が期待できる。

スケジュール（準備～実施～報告）

4月	「星のヒカリ」関係機関打ち合わせ、準備
5月	チラシ配布、宣伝、予約受付
6月	「星のヒカリ」にて開催
7月	振り返り
8月	倉敷市茶屋町「つくぼ片山家」 うち合わせ
9月	チラシ配布、宣伝、予約受付
10月	倉敷市茶屋町「つくぼ片山家」にて開催
11月	振り返り

(2) 実施体制

上記(1)の計画を実施するにあたり、実際に取り組む団体会員を記入してください。また、人件費を支払う予定の団体会員には、人件費欄に「有」を記入してください。

氏名	事業に有効な資格や経験	人件費
水川 順子	就労継続支援事業従事者（サービス管理責任者）	なし
山本 忠義	相談支援専門員 サービス管理責任者（就労・知的・精神）	なし
山田 弓美	就労継続支援事業従事者	なし
畠中 杏奈	就労継続支援事業従事者	なし
片木 薫	介護福祉士 就労継続支援事業従事者（サービス管理責任者）	なし
山田 歩実	就労継続支援事業従事者	なし
10名を超える場合は、外 名としてください		外（ ）名

8 受益者負担 事業の財源確保のため、可能な限り参加費や受講料などを徴収してください。

(1) 徴収する（見込み：ランチ・デザートセット・抹茶代）

(2) 徴収しない（理由：\_\_\_\_\_）

## 収支予算書（合計）

## 1 収入の部

科目	内訳	金額(円) <sup>2</sup>	積算根拠
受益者負担		0	
会費からの繰入		105,000	
売上	ランチ代	171,000	延べ 180 名見込（H30 年実績による）
市補助金		297,000	
収入合計		573,000	（支出合計と一致）

## 2 支出の部

科目	内訳	金額(円) <sup>2</sup>	積算根拠
人件費（会員） <sup>1</sup>		0	
交通費（会員） <sup>1</sup>		0	
人件費（アルバイト等）		40,000	4 名 × 2 日
謝金（講師等）			
旅費交通費（講師等）	駐車料金	5,000	
消耗品費	エプロン・帽子	24,000	2,400 円 × 10 組
	クリーニング	31,000	
	シール・用紙	4,000	
	紙コップ・食器他	5,000	
	画用紙	1,000	
	衛生用品	5,000	
通信運搬費	チラシ郵送料	16,000	
保険料	行事保険	20,000	10,000 円 × 2 回
使用料・賃借料	会場費	50,000	星のヒカリ 25,000 円 × 2 日
	＃	6,000	片山家 3,000 円 × 2 日
	食器・備品使用料	24,000	片山家 2 日間
外注費・委託費	チラシ外注	100,000	デザイン・製作費込み
対象経費計		331,000	
外注費	ランチ代支払い	171,000	
食糧費	まかない代	60,000	
その他	写真現像代	11,000	
対象外経費計		242,000	
支出合計		573,000	（収入合計と一致）

1：会員に支払う人件費と交通費の合算額は、対象経費計の 1 割を上限とする。

2：金額欄は切り上げて千円単位で記入してください。

## 「星のヒカリ」収支予算書

## 1 収入の部

科目	内訳	金額(円) <sup>2</sup>	積算根拠
受益者負担		0	
会費からの繰入		36,500	まかない代含む
売上	ランチ代	85,500	950円×90食
市補助金		149,200	
収入合計		271,200	(支出合計と一致)

## 2 支出の部

科目	内訳	金額(円) <sup>2</sup>	積算根拠
人件費(会員) <sup>1</sup>		0	
交通費(会員) <sup>1</sup>		0	
人件費(アルバイト等)	2名	20,000	2名×2日
謝金(講師等)			
旅費交通費(講師等)	駐車料金	5,000	820円×5日
消耗品費	エプロン・帽子	12,000	2,400×5組
	クリーニング	10,200	850円×12組(エプロン・帽子)
	シール代	1,000	メニューで使用
印刷製本費			
通信運搬費	チラシ郵送代	8,000	
保険料	行事保険	10,000	
使用料・賃借料	会場使用料	50,000	25,000円×2日
外注費・委託費	チラシ外注	50,000	デザイン・製作費込み
対象経費計		166,200	
外注費	ランチ代支払い	85,500	
食糧費	まかない代	19,500	
その他		0	
対象外経費計		105,000	
支出合計		271,200	(収入合計と一致)

1: 会員に支払う人件費と交通費の合算額は、対象経費計の1割を上限とする。

2: 金額欄は切り上げて千円単位で記入してください。

## 「つくば片山家」収支予算書

## 1 収入の部

科目	内訳	金額(円) <sup>2</sup>	積算根拠
受益者負担		0	
会費からの繰入		68,000	まかない代・写真現像代含む
売上	ランチ代	85,500	H30年度実績の客単価で計算
市補助金		147,400	
<b>収入合計</b>		<b>300,900</b>	<b>(支出合計と一致)</b>

## 2 支出の部

科目	内訳	金額(円) <sup>2</sup>	積算根拠
人件費(会員) <sup>1</sup>		0	
交通費(会員) <sup>1</sup>		0	
人件費(アルバイト等)		20,000	2名×2日間
謝金(講師等)			
旅費交通費(講師等)			
消耗品費	エプロン・帽子代	12,000	2400円×5組
	クリーニング	20,400	850円×24組(エプロン・帽子)
	シール代・用紙代	3,000	メニューで使用
	紙コップ・食器他	5,000	喫茶用・抹茶黒もじ他
	画用紙	1,000	食券
	衛生用品	5,000	消毒用アルコール・手袋他
通信運搬費	チラシ郵送料	8,000	
保険料	行事保険	10,000	
使用料・賃借料	会場費	6,000	
	食器・備品使用料	24,000	
外注費・委託費	チラシ・チケット 外注費	50,000	デザイン・製作費込み
<b>対象経費計</b>		<b>164,400</b>	
外注費	ランチ・ コーヒー代支払	85,500	
食糧費	まかない代	40,000	
その他	写真現像代	11,000	
<b>対象外経費計</b>		<b>136,500</b>	
<b>支出合計</b>		<b>300,900</b>	<b>(収入合計と一致)</b>

1: 会員に支払う人件費と交通費の合算額は、対象経費計の1割を上限とする。

2: 金額欄は切り上げて千円単位で記入してください。



## 組織運営体制

団体名	まこと
ふりがな	まこと
法人格( をつけてください)	任意団体・NPO法人・一般財団法人・一般社団法人・公益社団法人 公益財団法人・社会福祉法人・協同組合・その他( )
CANPAN 登録の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無

CANPAN: 日本財団及び特定非営利法人 CANPAN センターが運営する, 市民・NPO・企業などの活動を支援する WEB サイト  
以下の項目は, CANPAN に登録する情報と同等の内容です。登録済みの場合は, そちらを参照すると便利です。

## 1 組織体制

任意団体活動開始年月	2013 年 4 月 (西暦)	
法人格取得年月	2012 年 12 月 (西暦)	
事務所 所在地	倉敷市中庄 3138-9	
代表者	職・氏名	理事長 水川 順子
	電話番号	086 - 436 - 8805 ( 連絡可能時間帯 9 : 00 ~ 17 : 00 )
ウェブサイト URL	http://	
活動地域	倉敷市全域	
役員数・職員数計	28 名 ( 役員 10 名, 職員 18 名 )	
設立年月	2012 年 12 月 (西暦)	
活動分野 ( 該当に をする ) ( 複数回答可 )	子ども・青少年・障がい者・高齢者・在日外国人・留学生・福祉・保健・医療・ 教育・学習支援・地域・まちづくり・文化・芸術の振興・スポーツの振興・ 環境・エコロジー・災害救援・地域安全・人権・平和・国際協力・国際交流・ 男女共同参画・IT の推進・科学技術の振興・経済活動の活性化・起業支援・ 就労支援・労働問題・消費者保護・市民活動団体の支援・観光・農山漁村・中山間・ 助成活動・食・産業、漁業、林業・行政監視・情報公開・行政への政策提言・ 学術研究・その他 ( )	
活動目的 ( 規約等に定めるもの )	広く障がい者に対し、障がい者の雇用、就労支援に関する事業行い、障がい者の社会参加と経済的な自立の支援、社会参画の実現に寄与することを目的としています。	

<p>設立以来の主な活動実績</p>	<p>平成 24 年 3 月 NPO 設立趣旨賛同者らで設立総会開催          平成 24 年 12 月 「特定非営利活動法人まこと」認証、法人化          平成 25 年 4 月 就労継続支援 A 型事業所「おにぎり工房まこと」定員 10 名で運営を開始          平成 25 年 8 月 就労継続支援 A 型事業所「ダイヤクリーニング」定員 10 名で運営を開始          平成 26 年 10 月 就労継続支援 A 型事業所「おにぎり工房まこと」定員 20 名に増員          平成 26 年 8 月 多機能事業所「ダイヤクリーニング」に変更。          （就労継続支援 B 型事業所「まかるん」定員 10 名で運営開始）          平成 26 年 11 月 相談支援事業所「みるく」運営開始          平成 27 年 5 月 相談支援事業所「まーぶる」運営開始          平成 27 年 11 月 日中一時支援事業所「ティータイムまかるん」運営開始          平成 29 年 9 月 多機能事業所「ダイヤクリーニング」を単独 A 型事業所へ変更。          就労継続支援 B 型事業所「まかるん」定員 20 名で運営開始          平成 29 年 9 月 就労継続支援 A 型事業所「おにぎり工房まこと」を事業所名変更「手作り工房まこと」へ          平成 30 年 9 月 相談支援事業所「みるく」移転          平成 30 年 10 月 就労継続支援 B 型事業所「クッキーハウス」定員 10 名で運営開始（A 型事業所ダイヤクリーニングを多機能事業所に変更）</p>
<p>現在特に力を入れていること</p>	<p>岡山県・倉敷市の自治体と協力し、地域に根付いた活動を従来の枠にとらわれずに広げていくことに注力しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>地域の自治体・企業・事業所と協力・連携しあって企画提案を行い、得意分野を生かしたモノ作り、販売イベントを行い、利用者の賃金・工賃向上を目指す。</li> <li>障害者の作るものだから、ではなく、衛生管理・商品のクオリティ・パッケージデザインまでこだわり大手百貨店に並べることのできるものづくりをする。</li> <li>不要な経費の削減、利益を上げるための専門家の指導を受ける等、運営の改善。</li> </ol>

2 団体概要と財政状況

<p>団体の活動・業務 (事業活動の概要)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 就労継続支援 A 型事業所「手作り工房まこと」【弁当・菓子製造販売(定員 20 名)】</li> <li>2. 就労継続支援 A 型事業所「ダイヤクリーニング」【クリーニング店(定員 10 名)】</li> <li>3. 就労継続支援 B 型事業所「クッキーハウス」【駄菓子屋 (定員 10 名)】</li> <li>4. 就労継続支援 B 型事業所「まかるん」【室内軽作業 (定員 20 名)】</li> <li>5. 相談支援事業所「みるく」</li> <li>6. 相談支援事業所「まーぶる」</li> <li>7. 日中一時支援事業所「ティータイムまかるん」(定員 20 名)</li> </ol> <p>計 7 事業所を運営しており (2.3 は多機能事業所)、障がい者の一般就労及び総合的なサービス提供に向けて活動を行っております。</p> <p>特に一般就労に力を入れており、過去の実績として「手作り工房まこと」より 7 名、「ダイヤクリーニング」より 2 名となっております。</p> <p>H30.10 新しくスタートした就労継続支援 B 型事業所「クッキーハウス」は従来の駄菓子屋さんの「おこづかいで買えるわくわくする気持ち」を子供のみならず、一緒に来店する保護者の方にも味わっていただけるような空間を作りました。</p> <p>地域住民のかたに受け入れられ、社会に参画しながら、工賃の向上を目指しています。</p> <p>当法人は、事業所としての活動のみならず、地域の就労継続支援 A 型・B 型事業所との積極的な交流により活動の場を広げています。</p> <p>働いている障害のある人に支払われる「工賃」の向上を目指す取組として平成 28 年 2 月より開始した「お菓子ばこ倉敷」は、倉敷市内の障がいのある方々が働く複数の事業所が製造した焼き菓子を「お菓子ばこ」に詰め合わせ、企業の事務所などに設置させていただく「無人販売方式」、こちらの運営協議会事務局をつとめさせていただいております。</p> <p>自分たちにできることって何だろう、といつも問いかけながら、かしこまらず、まことへ行けば楽しい何かがある、自分たちにできることがある、そう思ってもらえるような運営を心がけています。</p>
-------------------------------	---

今後の活動の方向性	倉敷市全域の就労継続事業所および支援学校と協力し、「注文をまちがえるレストラン」活動を広げていきたい。
最新決算総額 (該当に をする)	100 万円未満・100～500 万円未満・500～1,000 万円未満・1,000～5,000 万円未満・5,000～1 億円未満・1～1 億円未満・5 億円以上
定期刊行物	

## 3 活動概要と協働実績

助成金・補助金等の支援を受けた実績	<p>平成 24 年度 中国労働金庫 NPO 立上げ助成金 10 万</p> <p>平成 25 年度 第 10 回 たましん地域振興支援制度「夢キックオフ」社会貢献活動部門 50 万</p> <p>平成 25 年度 赤い羽根「ボランティア団体・NPO 活動支援事業」助成 30 万</p> <p>平成 26 年度 日本財団福祉車輛助成金 146 万</p> <p>平成 26 年度 赤い羽根「ボランティア団体・NPO 活動支援事業」助成 30 万</p>
他 NPO・市民活動団体との協働実績	<p>平成 28 年 備中県民局 倉敷 「おかし BOX くらしき」 開始・参加</p> <p>平成 30 年度 倉敷市市民企画提案事業 「世界一やさしいレストラン」実施(「注文をまちがえる料理店」和田行男さんにトークライブご協力いただきました。)</p>
企業・団体との協働実績	<p>1. 菓子工房オークウッド 横田秀夫シェフ(内海会会長 洋菓子協会公認指導員)監修 「ココナッツサブレ」 井原石材有限会社 早雲蜜芋ペーストを使った「いもレーヌ」 パッケージデザイン: 絵本作家 降矢ななさん</p> <p>2. 倉敷市高梁川流域圏内企業連携型研究開発事業 商品開発担当 井原石材有限会社 地元特産品早雲蜜芋の商品開発「みついもバター」 「みついもグラッセ」 パッケージデザイン: 御来屋デザイン 本多英二さん</p> <p>3. 百姓の業伝承グループ 高梁紅茶とのコラボ商品開発「国会議事堂専用商品 高梁金箔紅茶」</p>
行政との協働実績(委託事業など)	<p>倉敷移住マスキングテープ制作</p> <p>倉敷市営中洲有料駐車場管理</p>